

ライブラリー通信

1月号 No.63

発行2013年1月4日

那珂市立図書館 那珂市管谷2995-1

TEL:029-352-1117 FAX:029-352-1178

ホームページ: <http://www.lib.city.naka.ibaraki.jp/>

携帯電話アドレス: <https://ilisod001.apsel.jp/naka-library/wopc/pc/mSrv?dsp=TP>

スマートフォンの方は、パソコン用アドレスをお使いください。



フクジュソウ(福寿草)
花言葉: 幸運を招く



睦月

旧暦で1月のことを睦月むつきといいます。他に元月げんげつ・泰月たいげつ・霞初月かすみぞめつき・子日月ねのひつき・初春月はつはるつき・早緑月さみどりつきなどの言い方もあります。「むつき」とは、年の初めからみんなで睦まじく(仲良く)暮らそうという意味が込められているといひます。1年間大切にしたい気持ちですね。

新年のごあいさつ



明けましておめでとうございます。いつも市立図書館をご利用いただきありがとうございます。お陰様で昨年は平成18年10月に図書館が開館してからの入館者数が200万人を達成することができました。心より感謝申し上げます。

さて、今年の干支は十二支の中の巳(蛇)です。蛇は外見や執念深いというイメージから嫌いな人が多いようですが、昔から助けてくれた人には恩返しをされると言われています。また、蛇というと金運や財運を思い浮かべる人も多いと思いますが、蛇は生命力が強く、脱皮を繰り返すことから再生の象徴として信仰されてきました。昨年ノーベル賞で話題になったiPS細胞の再生医療と何か相通じるものがありそうな気がしませんか。

もし、どこかで蛇を見かけたら、それはきっと幸運が舞い込む前兆かも知れませんよ。今年も皆さんにとって良い年になることをお祈り申し上げます。

館長 稲田 弘



【 市立図書館カレンダー 】

| 1 月 | | | | | | |
|--------------|----|----|----|--------------|--------------|----|
| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| | | 1 | 2 | 3 | ★4 | 5 |
| 6 14:00~ | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| 13 | 14 | 15 | 16 | 17 10:30~ | 18 | 19 |
| 20 14:00~ | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 15:00~ | 26 |
| 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | | |

| 2 月 | | | | | | |
|--------------|----|----|----|--------------|--------------|----|
| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| | | | | | 1 | 2 |
| 3 14:00~ | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| 17 14:00~ | 18 | 19 | 20 | 21 10:30~ | 22 15:00~ | 23 |
| 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | | |



のマークの日は「お話会」です

対象: 幼児・児童 場所: 1F お話コーナー

※30分間程度を予定しています。絵本に加え、大型絵本・紙芝居・パネルシアター・エプロンシアターと各回趣向をこらしています。たくさんのご参加お待ちしております。



開館時間



は休館日

平日 9:30~19:00
土・日・祝日 9:30~17:00
☆1月4日 13:00~19:00

「司書おすすめの本」コーナー 入れ替えを行いました！

2番書架に設置されている「司書おすすめの本」コーナーは、あらゆるジャンルの本を当館司書が、利用者さまに「これぞおすすめ」という本を集めたコーナーです。このコーナーに並べた本の貸出数が多くなることは、司書としての喜びです。いつもご覧いただきありがとうございます。さて、昨年12月より、このコーナーの本の総入れ替えを行いました。どうぞ、また新たな視点でご覧になってみてください。なお、児童書に関しては児童スペースの「茨城県推奨図書」コーナーをご覧ください。

【1月生まれの作家】

椋鳩十くむくはとじゅう

1905.1.22～1987.12.27

長野県生まれ。生家は牧場を営み、幼い頃から動物に親しむ。法政大学卒業後、鹿児島で教師をしながら創作を続け、雑誌『少年倶楽部』で活躍する。著書は『片耳の大鹿』『マヤの一生』『孤島の野犬』『大造じいさんとガン』など多数。

「母と子の20分間読書」提唱者としても知られる。



【生誕100年】

新美南吉くにいみなんきち

1913.7.30～1943.3.22

愛知県半田市生まれ。4歳の時に母が亡くなり、寂しい幼少時代を過ごす。代用教員時代『ごんぎつね』などの作品が、児童文化運動の父と言われる鈴木三重吉に認められ、雑誌『赤い鳥』に掲載される。東京外国語学校卒業後、教師になるが病に侵され、『おじいさんのランプ』『牛をつないだ樅の木』等命を削るように多くの作品を書き、29歳で亡くなる。



= 雪の物語 =

那珂市でも昨年12月1日に寒気に見舞われ、早くも雪がちらつきました。初雪・曇(みぞれ)・吹雪・名残雪・忘れ雪・細雪・深雪・粉雪…など、日本には雪を表現する素敵な言葉が数多くあります。本の中での雪は、物語に一層深みを与え、お話を盛り立てます。雪の情景を思い浮かべて読んで欲しい本です。

『ふゆねこ』

かのゆうこ文 こみねゆら絵

読み終わった後、思わず「おかあーさあーん」と、お母さんの胸に甘えたくてしまふような、そして、今、お母さんと一緒にいられることの幸せを感じられる冬の物語です。



『雪の断章』 佐々木丸美

少し古いですが、1985年に映画化されていますので、ご存知の方も多いと思います。北の都札幌を舞台に、雪の神秘さを感じながら孤独と優しさを描く長編小説。雪降る静かな夜に最適の一冊です。



※参考資料『新図書館ごよみ12か月』『学習に役立つわたしたちの年中行事1月』『日本の年中行事1・2月』

新しく入った大型絵本・紙芝居

<大型絵本> ・『へんしんオバケ』

<紙芝居> ・『ちょうちんおばけ』

・『ろくろくびのおかあさん』

・『ひっぱりぬまのかっぱ』



・『おばけのゆきがっせん』

・『にゅうどうぼぼーん』

・『てんぐのかくれみの』

話題の本

『拉致と決断』 蓮池薫

「北朝鮮」での24年間を初めて綴った迫真の手記！監視下の生活、洗脳教育の真相など、感涙のドキュメント。人生・人権・家族との絆まで脅かす「拉致問題」、あなたはどうかどうとらえますか…？

青少年

・『RDG6』 荻原規子

・『問う者、答える者 上・下』パトリック・ネス

児童書

・『ルドルフとスノーホワイト』 斉藤洋

・『ライジング父サン』 くすのきしげのり

・『一さつのおくりもの』 森山京

絵本

・『ねむるまえにクマは』 エリン・E・ステッド

・『みて、ほんだよ！』 フレヤ・ブラックウッド

・『美女と野獣』 サラ・ギブ

新しく入った本



・『月影の道』 蜂谷涼

・『新島八重と新島襄』 楠木誠一郎

・『新島八重ハンサムな女傑の生涯』 同志社同窓会

・『新島八重のことがマンガで3時間でわかる本』 津田太愚

・『カジュアル・ベイカンシー I・II』 J. K. ローリング

・『沈黙の人』 小池真理子

・『歓喜の仔 上・下』 天童荒太

・『減電社会』 小澤祥司

・『維新銃姫伝』 藤本ひとみ

一般

「八重の桜」コーナー